

南部幹線道路とは

—交通渋滞緩和と利便性の向上をめざした交通網の整備—

■姫路上郡線（山野里地内）

平成6年度から一部工事が着工され、現在では、山野里大池付近から町道平野線までの区間、1260m（山野里工区）の工事が進んでおり、平成12年に供用開始の予定になっています。

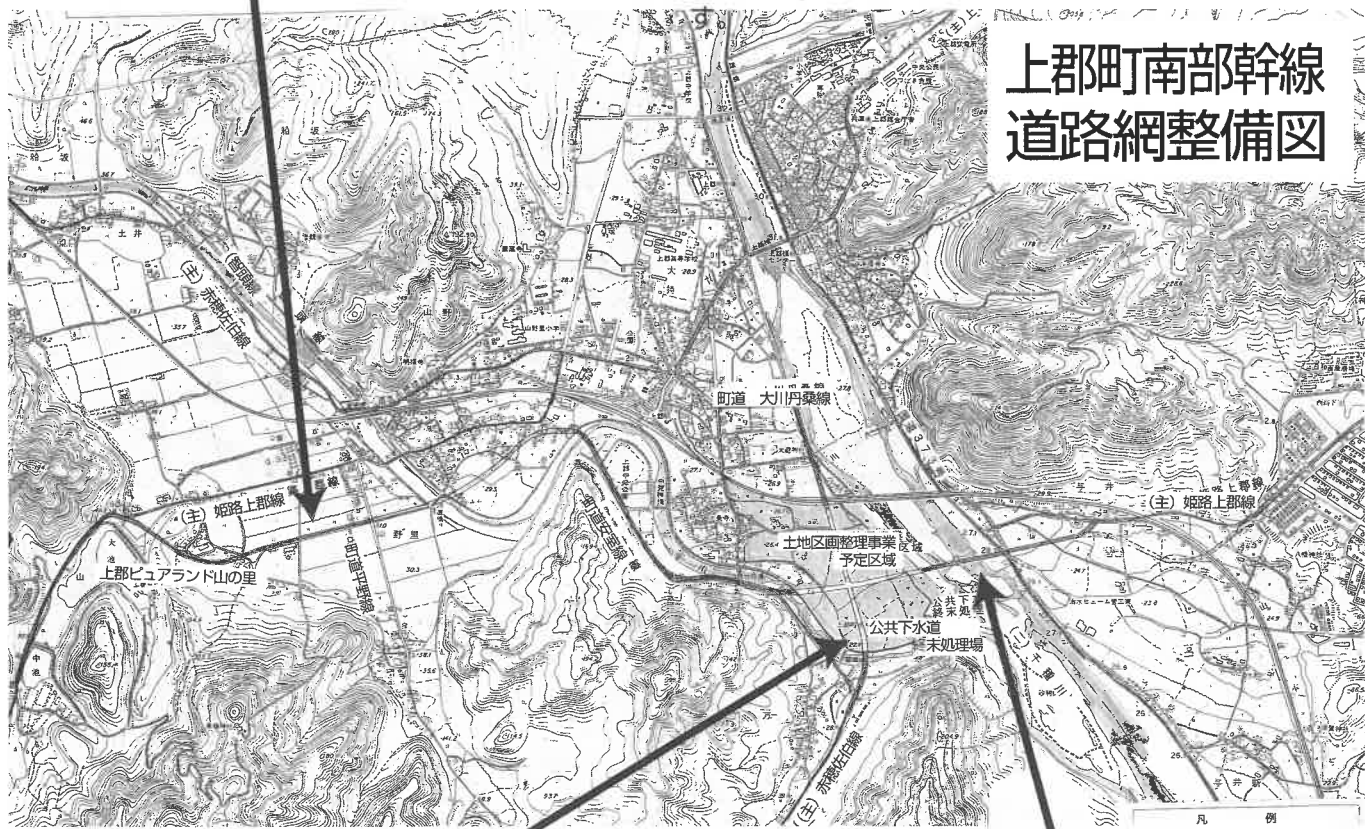


町の中心市街地へ通ずる主要幹線道路は、上郡橋を通り落地へ抜ける主要地方道姫路上郡線と西有年から竹万を抜け船坂へ通ずる赤穂佐伯線がありますが、いずれも平面交差の踏切と住宅密集地で拡幅されていない状況があり、交通のネックとなっていました。

このため、幹線道路として計画されたのが南部幹線道路で、姫路上郡線と赤穂佐伯線のバイパスルートとして都市計画路線に決定されています。

この計画は、町南部の交通網の充実を図るものですが、合わせて市街地整備、その他道路整備の充実を図り、昨年まちびらきした播磨科学公園都市の「西の玄関口」である当町全体の大きな発展に向けた大事業となっています。

上郡町南部幹線道路網整備図



■赤穂佐伯線（竹万地内）

赤穂佐伯線は、竹万地内の雲津橋下流付近から北に延び、JR山陽本線の下をくぐり、町が進んでいる大川丹桑線と結ぶルート（延長1205m）が計画されています。



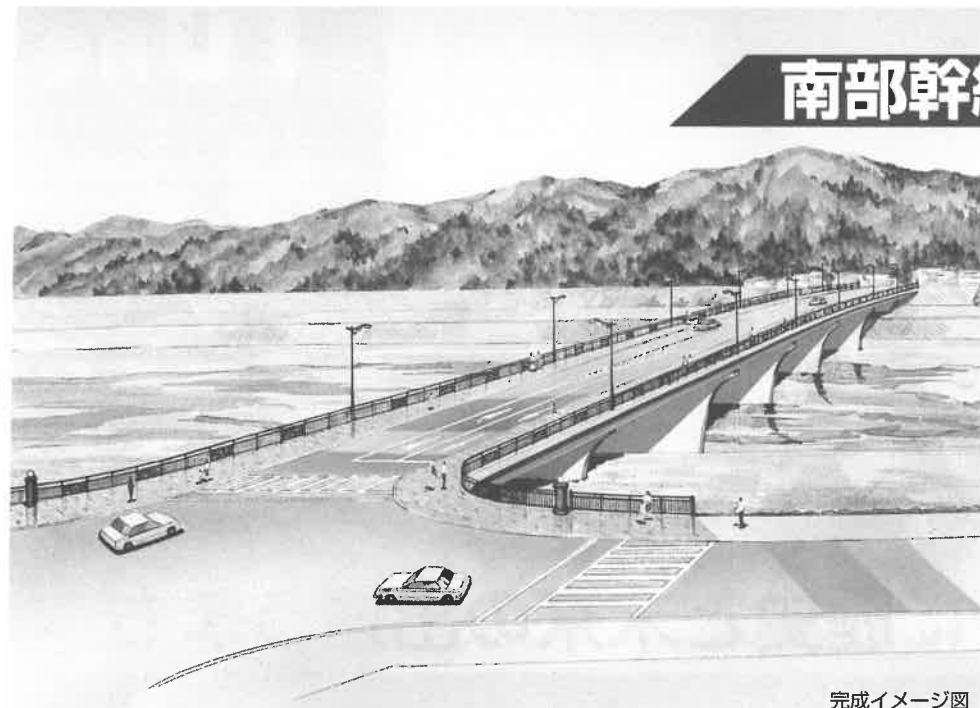
この2路線は、いずれも竹万土地区画整理事業の地区内を通過することになり、県上郡土木事務所と町で事業調整を行いながら、事業の進捗が図られています。

■姫路上郡線（与井～竹万地内）

与井地内から竹万橋の区間（与井～竹万工区）、1360mについても既に用地買収に入っており、10月から上郡あゆみ橋の下部工事が始まります。



南部幹線道路整備



完成イメージ図

上郡あゆみ橋
橋長294m、幅員16mの2車線両側歩道。今年度は、橋脚6基のうち竹万側から3基の下部工事が実施され、平成14年に完成する予定。



地鎮の儀（杭打）



橋の命名者11名も橋への思いを手紙に綴り工事の安全を祈りました。

『上郡あゆみ橋』の工事着手 平成14年の完成をめざす

南部幹線道路の早期完成と 工事の安全を祈る

町の南部市街地の慢性的な交通渋滞を解消するために、与井と山野里大酒（大池付近）をバイパスで結ぶ南部幹線道路の整備が県土木事務所により着々と進められている中、9月30日（水）上郡あゆみ橋の起工式が与井健康広場で行われました。

起工式は、南部幹線道路促進協議会（木村正芳会長）が主催したもので、萬代県会議員をはじめ、県職員や福井町長、上郡あゆみ橋の命名者ら関係者約90人が出席。工事の安全と円滑な事業促進を祈るとともに、橋の命名者11名が橋への思いを綴り、タイムカプセルに入れて埋設しました。

木村会長からは、「交通渋滞の解消は地域住民の長年の願いです。この度、橋が着工されたことは促進協議会にとって大きな喜びです」とあいさつが述べられ、地域発展への期待が高まる式典となりました。

また、橋の開通と道路整備が進むにつれ、課題となっているJR上郡駅を中心とする既成市街地と高田地区などの連携が強まり、一体的な発展が大いに進められます。さらに、公共下水道事業においても、橋に管きよが添架され、千種川から東地区の下水道整備が促進されます。